

令和6年度 北海道上磯高等学校 自己評価アンケート結果

各質問項目を読んで、評価欄A～Dのどれかに○印を付けてください。
 なお、個人ではなく学校としての運営や取り組みへの自己評価をお願いします。

回答数16
 一部の設問に無
 回答あり

令和6年(2024年)12月17日(火)
 令和7年(2025年)1月17日(金)

1 教育活動について

ここでの各評価は、A:十分である B:おおむね十分である C:不十分である D:改善を要する です。

※ 評価欄の数字は、今年度の評価を5点法(A=5点、B=3.75点、C=2.5点、D=1.25点)に換算し、表記した数値です。

領域	対象	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	数値目標等	A	B	C	D	評価数値	昨年度	改善方策
教育活動	学習指導	1 学習意欲の向上	・観点別評価、新カリキュラムを検証するとともに、校外へ向けた学習成果発表の場を設定し、学習意欲を向上させる取組を実施できたか。	○校外へ向けた学習成果発表会の場を教科、探究の時間を含めて各学年で1回以上設定。	2	10	1	0	3.8	3.8	○カリキュラムマネジメントの充実を図るとともに、生徒1人ひとりが自身の成長を認識できるよう、計画的に学習成果発表の取組を実施していく。
		2 ICT活用の促進	・全教員が1人1台端末を有効に活用する授業実践を行うとともに、教科ごとの効果的な活用について研究を進めることができたか。	○ICTに関する研修会を年間6回以上実施。	15%	77%	8%	0%			
	生徒指導	1 生徒会活動の充実	・生徒が主体的に生徒会活動に取り組むための組織・体制作りに努め、生徒が自ら考えた生徒会行事を実践・持続する指導を行えたか。	○年2回のリーダー研修会を実施し、月1回生徒会だよりを発行し、情報発信に努める。	5	8	0	0	4.2	3.9	○研修会等を通じて最新のトピックや互いの実践例を共有することで、校務におけるICTの効果的な活用を促進する。
		2 生徒・保護者との生徒指導の在り方共有	・本校の生徒指導に関する方針・在り方を、生徒、保護者と共有しよりよい生徒指導体制を築くための情報発信を十分に行えたか。また、意向把握の仕組み作りが十分に行うことができたか。	○生徒指導部だよりの隔月発行と生徒・保護者の意向調査のためのアンケートを実施する。	38%	62%	0%	0%			
	進路指導	1 進路実現に向けた意欲の喚起	・「総合的な探究の時間」や「LHR」を有効に活用し、生徒に夢を持たせ、その実現に持続的に取り組ませることができたか。	○全校生徒との進路面談を前期1回、後期1回、計2回最低実施。	1	6	6	0	3.3	3.1	○生徒会執行部の活動自体は活性化してきているため、行事を通して、校務におけるICTの効果的な活用を促進する。
		2 学年、保護者への情報発信	・本校の生徒指導に関する方針・在り方を、生徒、保護者と共有しよりよい生徒指導体制を築くための情報発信を十分に行えたか。また、意向把握の仕組み作りが十分に行うことができたか。	○生徒指導部だよりの隔月発行と生徒・保護者の意向調査のためのアンケートを実施する。	8%	46%	46%	0%			
		1 進路実現に向けた意欲の喚起	・「総合的な探究の時間」や「LHR」を有効に活用し、生徒に夢を持たせ、その実現に持続的に取り組ませることができたか。	○全校生徒との進路面談を前期1回、後期1回、計2回最低実施。	0	9	4	0	3.4	3.7	○生徒指導部便りの発行回数確保のため、分掌内での役割分担を行い、アンケートを含めたニーズの把握を実施する。
		2 学年、保護者への情報発信	・本校の生徒指導に関する方針・在り方を、生徒、保護者と共有しよりよい生徒指導体制を築くための情報発信を十分に行えたか。また、意向把握の仕組み作りが十分に行うことができたか。	○全校生徒との進路面談を前期1回、後期1回、計2回最低実施。	0%	69%	31%	0%			
学校運営	開かれた学校づくり	1 北斗高等支援学校との連携強化	・連絡会議を機能的なものとし、方向性の共有、早期での課題把握など、「協和」実現に向けた計画、具体的な取組をさらに実施することができたか。	○本校の行事や取組とのリンク依頼を年度当初及び途中からでも提案・実施し、策定・実施する。	3	8	4	0	3.7	3.5	○北斗高等支援学校との連携は、今年度より新たに合同学校説明会の開催、両校PTA等による清溪屋出店、進路指導の協力などを実施し、スピード感のある連携を構築できた。次年度も両校の良さを生かした取り組みを継続していく。
		2 市内小中学校、地域への情報発信及び交流活動の実施	・本校からの情報発信のみならず、小中学校との共同の活動や地域行事への積極的な参加により、児童生徒との直接的な交流が図られたか。	○市内小中学校児童生徒との交流事業5以上。	20%	53%	27%	0%			
	組織運営	1 担当校務の平準化	・今年度教育計画の実施事項、分担者等を前期に見直し、後期に平準化に向け取り組むなど、実効性ある働き方改革を実行できたか。	○人事評価定期面談等で実効性を確認し、50%以上の実行感覚を得る。	3	6	6	0	3.5	3.3	○市内小中学校との交流はできなかったが、北斗市子ども会連絡協議会への協力、夏祭りや防災行事への生徒参画を通じ、地域への発信は実現できた。次年度も機会を捉え充実させていく。
		2 協働する職員集団の構築【働き方改革】	・校務運営上の調整や課題解決に向け、個々の職員が主体的に取り組むとともに、他の職員と協働し、円滑に校務運営を進めることができたか。	○協働体制の有機的連携により45h/月の超過勤務者数の前年度比50%減。	20%	40%	40%	0%			
	教員の資質能力向上	1 研修の充実	・学習評価や新カリ、BYOD端末活用での全体的、計画的な研修と個々の研修還元報告等を組み合わせ、職員の意識を高めることができたか。	○各種研究協議会における研究発表者を年間のべ2名以上。	0	10	4	1	3.3	3.3	○業務内容の精査やICTの活用による効率化をはかり、人事評価制度に係る定期面談等で実効性を確認する。 ○業務の属人化を避け、効率化を推進するため、業務の進捗状況の可視化や組織で取り組む体制づくりをより推進する。 ○超過勤務の解消は変形労働時間制の積極的な活用や各種休暇の取得促進により改善に向かっていく。次年度も継続していく。
		2 社会性の修得	・教育に関する情報のみならず、社会の動きや課題について職員に情報提供し、高い社会性を有する教員として校務にあたることのできたか。	○各テーマごとのミニ発表会実施を3回以上。	0%	67%	27%	7%			
	学校安全	1 危機管理体制の確立	・生徒及び教職員の安全を確保するため、組織的な危機管理体制を確立し、保護者や地域と連携しながら迅速な対応を行うことができたか。	○各種研究協議会における研究発表者を年間のべ2名以上。	1	11	3	0	3.6	3.5	○今年度は4名の教員が各種事業の発表や執筆を行った。次年度もそれぞれの専門性を高め、校内外に還元できるよう機会を設定する。
		2 生徒の安心・安全への支援	・生徒が安心・安全な生活を送れるよう、心身の健康への配慮、いじめ防止対策、日常の困り感への対応など、保護者や関係機関と連携し、きめ細かな支援を行うことができたか。	○各テーマごとのミニ発表会実施を3回以上。	7%	73%	20%	0%			
		1 危機管理体制の確立	・生徒及び教職員の安全を確保するため、組織的な危機管理体制を確立し、保護者や地域と連携しながら迅速な対応を行うことができたか。	○月に1回以上、教職員の研修や啓発を実施し、生徒の安全確保や学校の防犯・防災体制の確立に努める。	3	9	1	0	3.9	4.3	○今年度は4名の教員が各種事業の発表や執筆を行った。次年度もそれぞれの専門性を高め、校内外に還元できるよう機会を設定する。
		2 生徒の安心・安全への支援	・生徒が安心・安全な生活を送れるよう、心身の健康への配慮、いじめ防止対策、日常の困り感への対応など、保護者や関係機関と連携し、きめ細かな支援を行うことができたか。	○心の健康や教育相談アンケート、ハイパーQU、いじめ早期発見のためのアンケート等を年間10回以上実施。	4	9	0	0			
		1 危機管理体制の確立	・生徒及び教職員の安全を確保するため、組織的な危機管理体制を確立し、保護者や地域と連携しながら迅速な対応を行うことができたか。	○月に1回以上、教職員の研修や啓発を実施し、生徒の安全確保や学校の防犯・防災体制の確立に努める。	2	12	1	0	3.8		○危機管理については、注意喚起や情報提供だけでなく、自分事として捉える研修の充実を図る。 ○生徒の安心・安全への支援については、日常の観察や声かけを丁寧に行い、生徒の困り感の発見や対応に即時性をもって応えられる校内体制を構築する。
		2 生徒の安心・安全への支援	・生徒が安心・安全な生活を送れるよう、心身の健康への配慮、いじめ防止対策、日常の困り感への対応など、保護者や関係機関と連携し、きめ細かな支援を行うことができたか。	○心の健康や教育相談アンケート、ハイパーQU、いじめ早期発見のためのアンケート等を年間10回以上実施。	13%	80%	7%	0%			

2 入学者確保に向けた取組とその状況

- 中学校訪問
 ①6月(校長:渡島22校)、②7月(分掌部長:北斗市内5校)、③10月(校長:檜山9校)、④11月(分掌部長:北斗市内5校)、⑤12月(校長:渡島22校)
 ○中学校での学校説明会参加 10月24日石別中、10月29日上磯中、11月14日大野中
 ○情報発信 ①webの活用(Instagram、学校ホームページ)、②新聞取材・掲載(北海道新聞、函館新聞、北海道通信、広報ほくと等)
 ○学校PRポスター5種の作成・配付
 ○学校説明会
 ①上磯高校・北斗高等支援学校合同説明会 ②上磯高校学校説明会 ③学校祭ブース設置 ④個別見学会(2回)
 ○学校開放講座・公開授業等による学校PR及び地域連携
 【学校開放講座】 防災に関する学校開放講座、デートDV講座、性の教育講演会
 【防災】 渡島防災スクラムロゴ作成、中野通町内会夏祭りでの発表、防災マルシェ運営補助、めざせ防災マスターキッズの企画運営
 【地域連携】 北斗市夏祭り協力、赤い羽根共同募金街頭募金活動、ほっこれんまつり協力、高齢者の介護予防へのレクリエーション運営
 ○北斗市内中高情報交換会開催(市内3高校、5中学校参加)